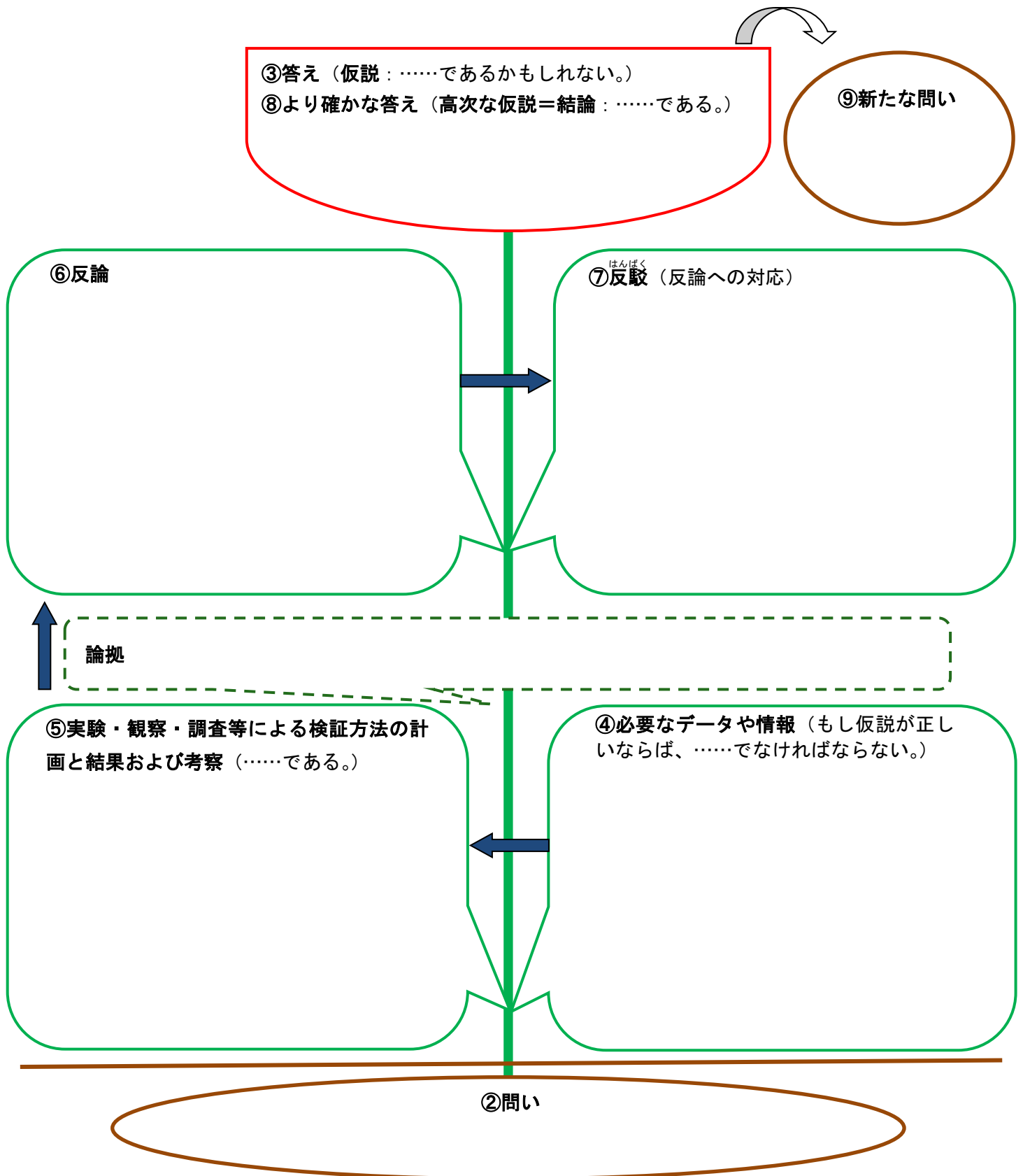


探究のためのロジカル・フラワー・チャート（Fチャート）



①問題状況（探究の出発点）

（考案：元立命館大学教育開発推進機構教授

元立命館アジア太平洋大学アドミッションズ・シニアフェロー 薄井道正）

Fチャートによる探究のみちすじ

Fチャートとは、〈考えるべき問題を見つけ、その問題がなぜ起きているのか（どうすれば解決できるのか）〉について仮説を立て、その仮説が正しいかどうか、誰もが理解できるような方法で論証・検証し、結論を導く〉という、言い換えれば〈自分なりの問いを立て、自分なりの方法で、自分なりの答えにたどり着く〉という探究的な思考のプロセスをモデル化したものです。探究のツールとして、表現（レポート作成やプレゼンテーション）のツールとして活用することができるものです。

①問題状況（探究の出発点）

日常のできごとや風景を「あたりまえ」のこととして見過ごさず、ちょっとした驚きや違和感にこだわって、新たな発見や解決につながる問題状況として捉える

②問い

じっくり観察し、仮説の形成と検証が可能な「問い」を立てる

④必要なデータや情報（もし仮説が正しいならば、……でなければならない。）

もし仮説が正しいならばどのような事実が成立しなければならないかを演繹的に推論する。仮説を検証するための方法を明確にするためのステップである

⑤実験・観察・調査等による検証方法の計画と結果および考察（……である。）

仮説や推論によって方向づけられた実験や観察、調査等をもとに仮説を検証する方法を計画し、実行する（問題解決のためのアイデアを支持する証拠やデータを集めて分析する）

論拠

根拠と仮説のつながりを担保する仮定（暗黙の了解）であり、ふつうは明示しない（されない）が、仮説に同意する（される）かどうかの鍵となる

⑥反論

反証例や異なる視点・観点からの批判を想定する

⑦反駁（反論への対応）

反論に対して仮説を防衛し、より高次の仮説に書き換えるためのステップである

③答え（仮説）、⑧より確かな答え（高次の仮説＝結論）

問題を解決するための仮説（新たなアイデア）を提示する

⑨新たな問い（課題）

答えから新たな問い（課題）を見つける（すぐれた答えは必ず新たな問いを生む）